

琥珀の刻 Amber Time

山本 直樹 YAMAMOTO Naoki

2022年10月12日(水) - 10月29日(土)

OPEN pm 12-7 水・木・金・土曜(日・月・火曜休廊)



山本直樹は角砂糖で東京、大阪などの都市を築くインスタレーションを、時事的な問題を織り交ぜながら発表してきました。そこに見られるのは、現代の世界情勢に対する山本の危機意識です。

熄まない戦争、悪化する災害、迷走する政治、解決の出口は全く見えず、未来は見透せない。それは黄砂で視界不良になり琥珀色に覆われた景色のようだ。

本展では、ナトリウムランプと蜂蜜を使って、ギャラリー内に琥珀色の空間をつくりだします。その単色空間の中で、ひとつのお菓子を観客は受け取ります。

琥珀色に満たされた単色空間の中で味わう微かな甘みから、あなたは何を想起するのでしょうか？

| 展示作品 |

・インスタレーション (はちみつ、ナトリウム光、お菓子など)
制作協力：餅匠しづく

・その他 小品数点

山本直樹

YAMAMOTO Naoki

今回の展示では、蜂蜜と人工光を使って抑圧空間を表現する。

黄砂が来ると、風景全体が琥珀色の写真の様になり、その中で私は浮遊する感覚に襲われる。コロナ禍、ウクライナ情勢、異常気象など現在の世界情勢は、これらに覆われた感覚に似ている。過去の記憶を鑑みても足元はおぼつかなく、未来も見えない、極めて不穏な状況。はたして出口はみつかるのだろうか？

社会性昆虫であるミツバチの食料「蜂蜜」と、統一されたオレンジ色光「単色光」を素材に、閉塞した空間を造る。その中でかすかな甘さを味わいながら、私たちの「いま」について考えたい。



1963年 新潟県生まれ

感覚、社会、記憶をテーマに、日々浮かんでは消えていく社会状況を砂糖、飴、チョコレートなどの味覚媒体や香り、匂いの物質を使ってインスタレーションやドローイングなどの作品を制作/発表する。